様式３（2015.06改）

作成日　平成３０年３月３１日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2374500516
事業所名	グループホームさくらひまわり

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	町内会に加入し、町内の清掃・お祭りにも参加している。元々ホームの畑だったが放置されていたものを、近所の人に請われて貸出し、お裾分けを頂いている。最近の介護記録にも散歩時に近所の畑で「何を作っているのか尋ねたところ、入居者に白菜を二玉頂いた」とあった。認知症サポーター養成講座をホームで開催した。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	家族・菜周職員・市職員・代表・管理者・職員が参加し法定数を満たす開催が確認された。地域代表には参加をお願いしている。昨年の外部評価結果を受けて定めた「目標達成計画」の目的を、メンバーに詳細に説明している。看取りを前提として、救急搬送時にどこまで家族が対応してくれるのかを会議で検討している。家族も4家族ほどが参加している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	行政窓口は管理者が務めている。尾張旭市には、『事業者連絡会』があり、行政担当者・地域包括職員・各事業者代表が100人程定期的に会合を開き、情報交換・行政からの依頼・広報を確認している。先日も市内であった「還付金詐欺」の注意が市から依頼された。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	ホーム便りは毎月郵送され家族の安心に繋がっている。管理者は「いつも行事や個々の入居者の近況で一方通行になってはいないか気がかり」と話す。リアルタイムで届くメールなども視野に、家族の生の声を聴く方法を考えている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	○	○	○		